



# 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋  
コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 CEO (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当執行役 CFO (氏名) 藤本 昌信

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,183	25.6	233		247		121	
2023年3月期第1四半期	6,516	41.7	319		323		410	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 197百万円 ( %) 2023年3月期第1四半期 381百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	5.31	
2023年3月期第1四半期	17.93	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	37,660	7,641	19.9	327.59
2023年3月期	38,828	7,838	19.8	335.94

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 7,493百万円 2023年3月期 7,684百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の配当予想につきましては未定であります。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,959	27.0	447		423		409		17.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	22,910,275 株	2023年3月期	22,910,275 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期1Q	36,224 株	2023年3月期	36,144 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	22,874,111 株	2023年3月期1Q	22,874,131 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類へと移行し、人流及びインバウンド需要も増加し、景気は緩やかに回復してきております。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化等からエネルギーや原材料価格など物価の上昇に加え、世界的な金融引き締め等による海外景気の下振れリスク等もあり、先行きは依然不透明な状況となっております。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は収束傾向となったものの、原材料、光熱費等様々なコストの上昇、さらに人手不足による人件費の増加など、引き続き厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中、当社グループはグループ一丸となって事業収益のV字回復を果たすため、戦略構築と実行を徹底し、企業風土の変革を希求してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高81億83百万円（前年同期比16億66百万円増）、営業損失2億33百万円（前年同期は営業損失3億19百万円）、経常損失2億47百万円（前年同期は経常損失3億23百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億21百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失4億10百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### (レストラン事業)

レストラン事業においては、EBITDA（償却前利益）とROI（投資回収率）を重視し、利益が見込める新規出店に投資を集中し、既存店舗においてはコロナ前の売上を目標に収益力を改善してまいります。また、店長のKPI評価や労働生産性プロジェクトを導入し省人化等の業務改善も推進しております。

その結果、新店はそば部門の「おらが蕎麦」3店舗、アジア部門その他の「シジャン」3店舗、「ゆきむら亭」2店舗の合計8店舗であります。業態変更は1店舗、退店は6店舗であります。この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、36都道府県に405店舗（フランチャイズ店舗96店舗を含む）となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は54億48百万円（前年同期比16.0%増）、セグメント利益46百万円（前年同期は4百万円の損失）となりました。

#### (機内食事業)

㈱エイエイエスケータリングにおいては、未だ航空会社の減便は続いており搭載食数の回復が遅れていることから増収ではありませんが、回復に向けたコスト増により減益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は6億53百万円（前年同期比155.5%増）、セグメント損失1億72百万円（前年同期は80百万円の損失）となりました。

#### (業務用冷凍食品製造事業)

㈱アサヒウェルネスフーズにおいては、冷凍弁当及び季節品のおせち等の製造が増加したことから増収増益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は11億97百万円（前年同期比59.8%増）、セグメント損失36百万円（前年同期は1億18百万円の損失）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業においては、大阪木津卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みではありますが修繕費等のコスト増により増収減益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は1億71百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益31百万円（前年同期は35百万円の利益）となりました。

#### (運輸事業)

水間鉄道㈱においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底したうえで沿線地域でのイベントの開催等に取り組むことで旅客数が増加し、増収増益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は1億4百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント損失4百万円（前年同期は9百万円の損失）となりました。

#### (その他)

大阪木津卸売市場で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が増加したことから増収増益となりました。日本食糧卸㈱で展開しております米穀卸売事業は、米の販売数量は増加しましたが炊飯事業の販売数量の減少や材料費の増加等により増収減益となりました。

以上の結果、その他の売上高は6億8百万円（前年同期比11.7%増）、セグメント損失20百万円（前年同期は4百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は147億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億89百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金14億99百万円の減少及び売掛金2億98百万円の増加によるものであります。固定資産は229億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券1億58百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、376億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億68百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は76億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億30百万円減少いたしました。これは主に未払金1億94百万円の減少によるものであります。固定負債は223億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億39百万円減少いたしました。これは主に長期借入金7億91百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、300億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億70百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は76億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億97百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失1億21百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は19.9%（前連結会計年度末は19.8%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,583,388	11,083,869
預け金	481,206	459,319
売掛金	1,488,036	1,786,116
商品及び製品	456,277	671,692
原材料及び貯蔵品	319,143	344,186
短期貸付金	179	119
未収入金	288,577	148,174
未収消費税等	21,788	36,533
その他	163,423	182,202
貸倒引当金	△1,261	△1,034
流動資産合計	15,800,758	14,711,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,341,330	28,540,751
減価償却累計額	△21,063,465	△21,236,849
建物及び構築物(純額)	7,277,864	7,303,902
機械装置及び運搬具	3,296,267	3,326,507
減価償却累計額	△2,439,428	△2,476,418
機械装置及び運搬具(純額)	856,839	850,089
工具、器具及び備品	1,985,256	2,025,351
減価償却累計額	△1,576,591	△1,592,253
工具、器具及び備品(純額)	408,665	433,097
土地	8,210,084	8,210,084
建設仮勘定	74,587	87,581
有形固定資産合計	16,828,041	16,884,755
無形固定資産		
のれん	262,738	246,379
その他	60,413	83,472
無形固定資産合計	323,152	329,851
投資その他の資産		
投資有価証券	1,223,293	1,064,641
長期貸付金	116,607	165,426
差入保証金	4,402,066	4,355,864
繰延税金資産	32,079	37,814
その他	120,982	129,097
貸倒引当金	△18,438	△18,438
投資その他の資産合計	5,876,589	5,734,406
固定資産合計	23,027,784	22,949,013
資産合計	38,828,543	37,660,194

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,137,694	1,216,519
短期借入金	500,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	3,372,602	3,248,096
未払金	535,610	341,581
未払費用	1,237,000	1,307,866
未払法人税等	27,035	5,438
未払消費税等	384,508	248,159
賞与引当金	134,731	57,791
資産除去債務	88,831	82,724
その他	391,370	520,281
流動負債合計	7,809,385	7,678,460
固定負債		
長期借入金	19,522,999	18,731,544
長期未払金	8,056	8,056
繰延税金負債	1,464,135	1,427,603
退職給付に係る負債	120,833	91,324
資産除去債務	1,285,808	1,305,541
その他	778,347	776,514
固定負債合計	23,180,180	22,340,583
負債合計	30,989,565	30,019,044
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	12,534,726	8,345,313
利益剰余金	△5,103,525	△1,035,592
自己株式	△35,381	△35,463
株主資本合計	7,495,820	7,374,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,095	108,272
為替換算調整勘定	3,963	11,285
退職給付に係る調整累計額	△530	△408
その他の包括利益累計額合計	188,527	119,150
非支配株主持分	154,628	147,742
純資産合計	7,838,977	7,641,149
負債純資産合計	38,828,543	37,660,194

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	6,516,814	8,183,642
売上原価	4,070,514	5,281,474
売上総利益	2,446,299	2,902,167
販売費及び一般管理費	2,766,224	3,135,496
営業損失(△)	△319,924	△233,328
営業外収益		
受取利息	123	1,185
受取配当金	20,915	28,021
投資有価証券売却益	-	70
賃貸料収入	45,841	41,012
その他	25,955	13,814
営業外収益合計	92,835	84,104
営業外費用		
支払利息	43,837	42,656
借入手数料	1,000	1,000
賃貸費用	29,489	21,021
持分法による投資損失	14,145	25,064
その他	8,334	8,568
営業外費用合計	96,808	98,311
経常損失(△)	△323,897	△247,535
特別利益		
固定資産売却益	-	120
投資有価証券売却益	-	121,824
助成金収入	71,231	2,107
保険解約益	46,891	-
その他	1,095	-
特別利益合計	119,218	124,051
特別損失		
固定資産除却損	47,999	1,355
減損損失	1,793	-
投資有価証券評価損	-	999
新型コロナウイルス感染症による損失	188,151	-
その他	3,766	-
特別損失合計	241,711	2,355
税金等調整前四半期純損失(△)	△446,389	△125,839
法人税等	△35,742	3,938
四半期純損失(△)	△410,647	△129,777
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△545	△8,296
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△410,101	△121,480



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△410,647	△129,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	584	△78,870
為替換算調整勘定	27,560	11,204
退職給付に係る調整額	87	122
持分法適用会社に対する持分相当額	488	△72
その他の包括利益合計	28,721	△67,615
四半期包括利益	△381,926	△197,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△390,424	△190,858
非支配株主に係る四半期包括利益	8,498	△6,534

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月27日開催の当社株主総会において、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えることにより、繰越利益剰余金の欠損額の補填に充当することを内容とする剰余金の処分を行うことを決議し、同日付で処分を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が4,189,413千円減少し、利益剰余金が同額増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸 事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される財	4,695,723	255,643	749,384	—	53,516	5,754,267	544,538	6,298,806	—	6,298,806
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	46,374	46,374	—	46,374	—	46,374
顧客との契約から生じる収益	4,695,723	255,643	749,384	—	99,891	5,800,641	544,538	6,345,180	—	6,345,180
その他の収益	—	—	—	171,634	—	171,634	—	171,634	—	171,634
外部顧客に対する売上高	4,695,723	255,643	749,384	171,634	99,891	5,972,276	544,538	6,516,814	—	6,516,814
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,928	2,911	—	7,309	12,148	119,439	131,588	△131,588	—
計	4,695,723	257,571	752,296	171,634	107,200	5,984,425	663,977	6,648,403	△131,588	6,516,814
セグメント利益又は損失(△)	△4,286	△80,787	△118,610	35,579	△9,919	△178,024	△4,860	△182,885	△137,039	△319,924

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△137,039千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸 事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される財	5,448,324	653,125	1,197,463	—	57,609	7,356,523	608,052	7,964,575	—	7,964,575
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	47,300	47,300	—	47,300	—	47,300
顧客との契約から生じる収益	5,448,324	653,125	1,197,463	—	104,909	7,403,823	608,052	8,011,876	—	8,011,876
その他の収益	—	—	—	171,765	—	171,765	—	171,765	—	171,765
外部顧客に対する売上高	5,448,324	653,125	1,197,463	171,765	104,909	7,575,589	608,052	8,183,642	—	8,183,642
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	11,298	2,723	—	8,339	22,360	161,676	184,037	△184,037	—
計	5,448,324	664,423	1,200,186	171,765	113,249	7,597,950	769,729	8,367,679	△184,037	8,183,642
セグメント利益又は損失(△)	46,950	△172,843	△36,774	31,677	△4,820	△135,809	△20,738	△156,547	△76,780	△233,328

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△76,780千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。